



川崎市市制 100 周年・開館 25 周年記念

「岡本太郎に挑む 浅井裕介・福田美蘭」展

Challenging Taro Okamoto: Yusuke Asai & Miran Fukuda

01. 開館 25 周年記念ラッゲ



川崎市市制 100 周年、そして当館の開館 25 周年を記念して、浅井裕介(1981-)と福田美蘭(1963-)の2人の現代作家による展覧会を開催します。常設展示室と企画展示室の双方で開催する特別な展覧会です。

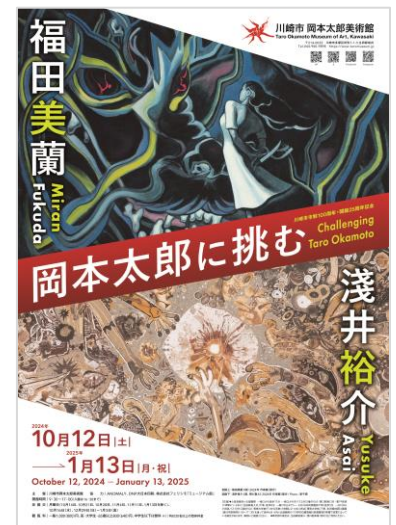
浅井は土、水、小麦粉、テープ、ペンなどの身近な素材によって、あらゆる生物の根源を想起させるような神話的世界を描く作家です。展覧会が開催される各地で採取した土を絵具にし、現地の人々と協力して大規模な作品を制作するなど、土地に根ざした作品を手掛けることでも知られています。

福田は、芸術や文化、現代社会への批評的なまなざしを可視化する作家です。綿密なリサーチと福田ならではのウィットに富んだ視点に基づく作品は、鑑賞者へ物事に対する新たな視点をもたらします。今回は、福田がいう「生真面目」な岡本太郎に、全点新作で挑みます。

本展では、アートシーンの第一線で活躍する2人の作家が、岡本太郎と関連づけた自作を企画展示室に展示

します。本展のために、浅井は川崎市内で採取した土を絵具にして巨大な新作を制作します。福田は新作を展示するほか、岡本の作品によるインスタレーションを展開します。また、常設展示室では、2人の作家がそれぞれ独自の視点で選んだ当館収蔵の岡本作品を紹介します。

芸術一家に生まれ、青年時代に哲学や民族学を学んだ岡本太郎は、執筆活動で自身の思想を深めながら、絵画・彫刻・工芸・デザインなどの既存の枠組みを超えて活躍しました。本展は、そうした岡本の表現・思想の多面性を、世代や表現方法の異なる2人の現代作家の視点で見直す機会でもあります。互いに触発しあうことで見えてくる、3者それぞれの新たな一面をぜひお楽しみください。



02. 展覧会ポスタービジュアル

開催概要

会 期 2024 年 10 月 12 日(土)～2025 年 1 月 13 日(月祝)

会 場 川崎市岡本太郎美術館 常設・企画展示室(全館展示)

休 館 日 月曜日(10 月 14 日、10 月 21 日、10 月 28 日、11 月 4 日、11 月 11 日、1 月 13 日を除く)、
10 月 16 日(水)、12 月 29 日(日)～1 月 3 日(金)

観 覧 料 一般 1,000(800)円、高・大学生・65 歳以上 800(640)円、中学生以下は無料

※()内は 20 名以上の団体料金

主 催 川崎市岡本太郎美術館

協 力 ANOMALY、DNP 大日本印刷、株式会社フェリシモ「ミュージアム部」



作家紹介

浅井裕介 Yusuke Asai

1981 年、東京都生まれ。1999 年、神奈川県立上矢部高等学校美術陶芸コース卒業。近年の主な個展に「浅井裕介展 星屑の子どもたち」(金津創作の森美術館)「なんか/食わせろ」(ANOMALY、2020 年)、「浅井裕介―絵の種 土の旅」(箱根彫刻の森美術館、2015-2016 年)など。国内外の芸術祭、アートフェス、グループ展に参加し、積極的に作品を発表している。2019 年に「第 68 回横浜文化賞文化・芸術奨励賞」を受賞。

福田美蘭 Miran Fukuda

1963 年、東京都生まれ。1987 年、東京藝術大学大学院修士課程修了。1989 年、具象画の登竜門とされた安井賞を最年少で受賞。以後、国内外で精力的に作品を発表する。近年の主な個展に、「福田美蘭展 千葉市美コレクション遊覧」(千葉市美術館、2021 年)、開館 35 周年記念 特別展「福田美蘭―美術って、なに?」(名古屋市美術館、2023 年)などがある。

みどころ

- 浅井裕介は、川崎市内で採取した土を絵具として使用した巨大な新作を発表します。
本作は、会期開始の約1ヶ月前から、制作のためのボランティアスタッフと協力して制作したものです。
- 福田美蘭の出品作は、すべて本展のために制作された新作です。
岡本太郎作品を用いた大規模なインスタレーションにも挑戦し、福田の視点から見た「岡本太郎」を紹介します。
- 常設展示室では、浅井と福田がそれぞれ独自の視点で選んだ岡本太郎作品をコメントと共に展示します。

展示構成

- 常設展示室
浅井裕介・福田美蘭が選んだ岡本太郎作品 約 150 点 (平面、彫刻、ドローイング、写真など)
※一部の作品は、作家のコメントと一緒に展示します。
- 企画展示室
浅井裕介 約 15 点(平面、立体、インスタレーションなど)
福田美蘭 約 15 点(平面、インスタレーションなど)
岡本太郎 約 30 点(平面、立体、写真など) ※福田美蘭によるインスタレーション内で展示の作品を含む

お問い合わせ

川崎市岡本太郎美術館 展覧会担当:喜多、加藤、片岡 広報担当:山内(pr@taromuseum.jp)
〒214-0032 神奈川県川崎市多摩区柵形 7-1-5 生田緑地内
TEL:044-900-9898 / FAX:044-900-9966



関連イベント

○浅井裕介：公開制作

企画展示室にて浅井裕介が作品制作を行います。作品が生まれるリアルな現場をぜひご覧ください！

※完成した作品は本展にてご鑑賞いただけます。

日 時：9月22日(日・祝)13:30～15:30

対 象：どなたでも(小学生以下は要保護者同伴)

料 金：無料(要観覧料)



03. 浅井裕介《星、飛び散ル》2024 年
制作の様子(金津創作の森美術館)

○ワークショップ「はじまりのゲー」

手のひらをぎゅっと握りしめて「はじまりの彫刻」を作ります。

日 時：10月27日(日)10:00～11:30

講 師：浅井裕介

会 場：創作アトリエ

対 象：小学4年生以上

定 員：20 名

料 金：500 円＋観覧料

申 込：ウェブ受付 (期間:9月25日(水)10:00～10月3日(木)17:00)、抽選制

○ワークショップ「美術館と生田緑地のお散歩」

自然や生命をテーマに創作する浅井裕介と美術館や生田緑地のなかを散歩します。作家の話を聞きながら、歩いた場所について考察、記憶し、自然のなかで時間を共有します。

日 時：10月27日(日)13:30～15:00

会 場：川崎市岡本太郎美術館 館内、生田緑地内(※荒天の場合は美術館内のみでの開催)

対 象：高校生以上

定 員：20 名

料 金：500 円＋観覧料

申 込：ウェブ受付 (期間:9月25日(水)10:00～10月3日(木)17:00)、抽選制

○ギャラリートーク

会 場：企画展示室

対 象：どなたでも

料 金：無料(要観覧料)

申 込：不要。開始 10 分前に展示室内にお集まりください。

◆浅井裕介と担当学芸員によるギャラリートーク (11月2日(土)15:00～16:00)

◆担当学芸員によるギャラリートーク (11月24日(日)、12月7日(土) 各日とも 14:00～)

その他、イベントの詳細については当館ホームページで随時お知らせします。

<https://www.taromuseum.jp>



2024 年 10 月吉日

PRESS RELEASE



川崎市 岡本太郎美術館
Taro Okamoto Museum of Art, Kawasaki

「岡本太郎に挑む 浅井裕介・福田美蘭」展 広報用画像の提供について

展覧会をご紹介いただける場合は、当館広報(pr@taromuseum.jp)宛にご連絡ください。
広報用画像をお貸しいたします。



04. 岡本太郎《邂逅》1971 年
川崎市岡本太郎美術館蔵



05. 岡本太郎《挑み》1980 年
川崎市岡本太郎美術館蔵



06. 岡本太郎《燃える人》1955 年
川崎市岡本太郎美術館蔵



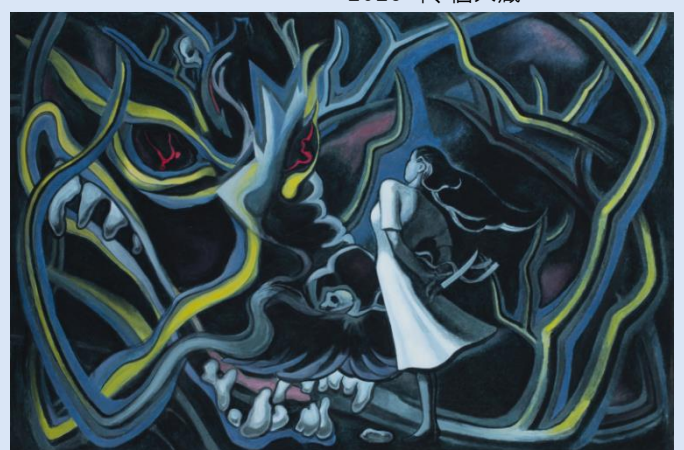
07. 浅井裕介《野生の星》2019 年、愛知県美術館蔵



08. 浅井裕介《命の足音―山梨芸術の森》
2023 年、個人蔵



09. 福田美蘭《7歳のときの落書き》1970 年、作家蔵



10. 福田美蘭《夜》2024 年、作家蔵